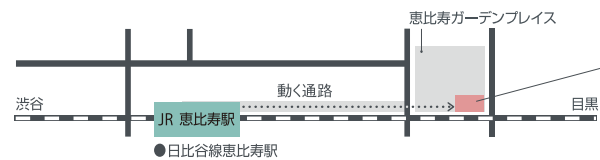




二〇一六年秋、
また恵比寿から。

ただいま休館中です。
2016年秋、リニューアル・オープン予定。
Closed for renovations.
We will reopen in fall 2016.



東京都写真美術館

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3
恵比寿ガーデンプレイス内 Tel.03-3280-0099
www.syabi.com

東京都写真美術館ニュース「アイズ14」83号 ●発行日:2014年10月24日 ●企画・編集:東京都写真美術館事業企画課 普及係 ●印刷・製本:JTB印刷株式会社 ●発行:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館 © 2014 ●本誌掲載の記事、写真の無断複写、複製を禁じます。

eyes
| 2014 Vol.83 |

TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY
NEWS MAGAZINE

ただいま全館 休館中です

東京都写真美術館は、現在、館の大規模改修工事に伴い2016年8月末(予定)まで休館中です。1990(平成2)年の一次開館、そして1995(平成7)年の総合開館以来、約20年間にわたり写真と映像専門の総合美術館として日本におけるセンター的役割を担ってまいりました。この度の改修工事で、経年劣化に伴う設備機器の更新等を行い、公共施設としてお客様により安心で快適な美術館へと生まれ変わります。長期にわたる休館となりますが、皆様のご理解をお願い申し上げます。



休館中も活動中! 最新情報はホームページで

休館中も学芸員や職員は、2016年9月以降に開催する展覧会の調査・交渉・準備、作品管理、収蔵作品データベースの更新作業、「恵比寿映像祭」の準備・開催、教育普及活動(スクールプログラム、ワークショップなど)、出版書籍の調査・執筆、専門分野の研究・調査、各種委員会の開催、広報活動など、通常の美術館業務とリニューアル・オープンに向けた準備を行っています。学芸員の活動や巡回展情報がわかる「どこでも写美」、ブログやツイッターなど、休館中の最新情報はホームページをご確認ください。

ニュース「eyes」^{アイズ}、別冊「nya-eyes」^{ニャイズ}は 継続して発行

休館中も本誌ニュース「eyes」(アイズ)は、美術館からのお知らせを中心に発行します。ホームページでの掲載のほかに、東京都歴史文化財団の美術館・博物館や文化施設、首都圏の主要美術館、ギャラリー、美術系大学・専門学校などでも配布します。



別冊「ニャイズ」では学芸員の仕事を
ご紹介

「スクールプログラム」は出前授業します

当館では、写真映像メディアを通して、豊かな体験学習ができるように、小学校、中学校、高等学校の授業や部活動と連携した「スクールプログラム」を用意しています。「スクールプログラム」について、今年度(2015年3月下旬まで)に利用を希望される場合は、まずは美術館に直接お電話でご相談ください。試行期間として出前授業の形で実施します。プログラム内容や日時の詳細についてもご相談ください。来年度(2015年4月以降)からは、各学校への出前授業を中心に、アウトリーチ活動を本格的に開始する予定です。



図録・グッズはナディッフ アパートの 店舗とオンラインショップで販売

当館の展覧会図録、美術館オリジナルグッズ、「ニャイズ」単行本などは、恵比寿の「NADiff a/p/a/r/t(ナディッフ アパート)」の特設コーナーとオンラインショップで販売します。本誌「eyes」も無料で配布します。どうぞご利用ください。



図録やグッズ。在庫状況はお問い合わせください。

NADiff a/p/a/r/t ナディッフ アパート

オンラインショップ <http://www.nadiff-online.com/>

150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-18-4 NADiff A/P/A/R/T 1F (JR恵比寿駅東口出口から徒歩6分) TEL. 03-3446-4977

「第7回恵比寿映像祭」2015年2月開催! 詳細は次の見開きページをご覧ください。

収蔵作品と 蔵書の引っ越し中!

改修工事に取りかかる前に、現在、収蔵作品と蔵書の引っ越し作業を行っています。大切な作品・図書を傷つけることのないよう、学芸員と司書が総出で作業を行っています。

収蔵作品

1 当館には写真・映像をあわせて30,000点超の収蔵作品があります。まず収蔵庫に入っている作品をすべて展示室に移動。温湿度管理された状態で、美術輸送の専門家が慎重に作業します。学芸員や保存科学専門員が管理・進行を行います。

2 作品を移動した後に、作品が置いてあった収蔵庫の棚を解体し、運び出します。その棚は、引っ越し先の外部の作品保管用美術倉庫で組み立てます。

3 作品を順番に外部に移動し、同じ棚に収納していきます。4トントラックで約44台の移動を予定しており、作業は12月まで続きます。



まずは収蔵庫前室から額を運び出される

蔵書

司書と図書館職員が約40,000冊の図書と約1,600タイトルの雑誌を1点1点点検し、状態を確認します。それから、書架の順番に約4,500個の専用の箱に入れ、温湿度管理された外部倉庫に運び出します。



運び出す前に、すべての蔵書を点検する

平成26年度新収蔵作品は 次号で紹介

美術館活動の根幹をなす作品収集。休館中も、もちろん休みなく収集を続けます。本年度(平成26年度)の新収蔵作品は、次号「eyes84号」(2015年3月末日発行予定)で一部をご紹介します。

1990-2014

東京都写真美術館は、1990(平成2)年の一次開館、そして1995(平成7)年の総合開館以来、数多くの収蔵展と自主企画展を開催してきました。ここでは、いままでに当館が開催したすべての収蔵展と自主企画展のフライヤー(展示会の告知用チラシ)を紹介し、その歩みを振り返ります。

当館学芸員が独自に調査・研究・企画したこれらの展示会が、皆様に少しでも写真と映像のすばらしさをお伝えできれば、これほど幸せなことはありません。そして、これらの展示会は、企業や個人、関係者の皆様の多大なご協力、そして、写真・映像を愛するお客様の熱い思いによって実現できたものです。心より感謝申し上げます。約2年間の長期休館となりますが、2016年秋のリニューアル・オープンで、さらなる感動をお届けいたします。その日をどうぞ楽しみに!

東京都写真美術館

